

開発～販売(創る-作る-造る-売る四位一体)までワンストップによるものづくり体制と高度な提案力により新規事業参入へ積極推進

同社は、1業種における売上比率を30%以下にコントロールし自動車、半導体、FA、医療などさまざまな分野に高精度コロ、鏡面シャフト、極小ピンを供給。材料選定から全工程の社内一貫体制のもと微細切削、高精度研磨・研削、超仕上のコア技術の融合により先端医療機器をはじめあらゆる分野の先端開発に技術貢献。

所在地 茨城県常陸太田市折橋町825
電話/FAX 0294-82-2241 / 0294-82-2251
URL <http://mizui.co.jp/>
代表者 代表取締役社長 井上 雅弘

設立 1967年
資本金 1,200万円
従業員数 52人



成長に向けた市場の選択と集中

近年では、ものづくり補助金を活用し、医療業界への新規参入を果たし順調にシェアを伸ばしている。もう一つの開拓市場であるファクトリーオートメーションにおいては、ロボット基幹部品の先端開発に携わり成長分野へのリソースの集中投下を図り、今後のシェア拡大が期待できる。生産体制の効率化、高機能化に向けて最新鋭設備の導入、IT化によるスケジューリングから超最速短納期メーカーとして技術 + 時間の固有の価値提供により付加価値向上に努めている。



IT化された製造工程

生産体制を支える技術者の高い技術と50年間培ったノウハウ

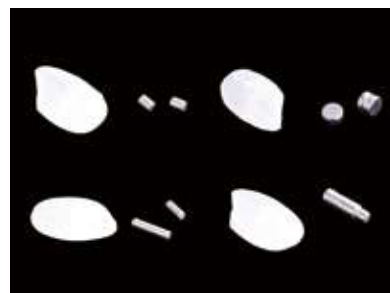
人材採用においては、毎年未経験者を新規採用しながら熟練の持つ技術継承や働き方改革に積極的に取り組んでおり「挨拶日本一」「3S日本一」を目指した人材育成がモットーである。特に技術面では、50年間培ってきたノウハウから創造される国内最高位の加工スペック水準、超最速短納期水準に順応できる技術者育成が重要であるなか、多能工化、魂込めたものづくり精神の醸成により技術の幅・深耕を拡充し、永続性を持った生産体制が構築されている。



教育訓練の風景

超精密加工により先端医療機器の機能向上に貢献

医療分野への参入を果たしてきた同社は、内視鏡等に使用されるマイクロモーターでは微細加工技術が極小高精度位置決めピンとして内視鏡のコンパクト化に寄与することで患者への負担軽減が期待されている。再生医療用の高機能ステントにおいては、鏡面加工技術の開発により先端医療に貢献。また、血球分析医療機器メーカーには、流体ピストンポンプ機構部の液漏れによる定期メンテナンスが発生する課題に対し超精密研磨により液漏れをなくすことでメンテナンス頻度の削減を実現した。医療分野の課題を解決していく過程には、微細精密切削や鏡面研磨などの高い技術力が寄与している。



φ0.5前後の極小ピン